

ねぐされびょう 根腐病

病原菌名 *Phytophthora fragariae*

発生条件

病原菌の発育適温は22℃で、比較的低温性の菌である。秋の定植後から5月頃までの間に発病し、以後温度の上昇とともにまったく生じなくなる。土壌伝染および苗で伝播する。排水不良の低湿地ほど発生が多い。また、大雨で冠水すると激発しやすくなる。



発病株

根部が侵され、下位葉から枯れ上がる場合と急激に萎凋する場合がある。細根が褐変し、根の中心柱が赤褐色となる。